

学年末試験で全教科100点満点を取り、新学年に進級するには

— 「勉強の手順」を工夫しよう—

開倫塾

塾長 林明夫

**Q** : 2月の学年末試験で全教科100点満点を取るなど、本当にできるのでしょうか。

**A** : できます。「勉強の仕方を工夫」すれば、必ずできます。

**Q** : では、お聞きします。どのように勉強の仕方を工夫すればよいのですか。

**A** : (1) 学年末試験の日程は決まっておりますので、勉強の「手順を工夫」することが大切です。

(2) 「手順を工夫」というのは、「まず何をやり、次に何をやるかという順序を工夫」することです。

(3) 学年末試験までの「勉強の手順・順序」をよく考え、工夫しましょうね。

**Q** : どんな手順・順序で学年末試験の勉強をすればよいのですか。

**A** : (1) 学年末試験には、学校で学んでいる全教科が出題されます。ですから、2～3週間で全教科の勉強を終えることはできません。

(2) そこで、第1に実行して頂きたいのは、この私の文章を目にした今日から学年末試験の勉強をスタートすることです。

(3) 中学生であれば、1月中に音楽、美術、保健体育、技術・家庭の「4教科」の勉強を教科書や授業ノート、学校で使っている副教材を用いて一通り完了することです。

(4) なぜかというところ、この「4教科」は比較的勉強しやすいにもかかわらず、定期試験前にならないと教科書も開かない人が大半だからです。

(5) 1月中に「4教科」の勉強を一通り完了する。次に、2月に入ったら、試験1～2週間前までに2回目の勉強を完了する。そして、最後に、試験直前に3回目の勉強をする。

(6) このようにして、まずは「4教科」100点満点を目指しましょう。

**Q** : 英語・数学・国語・理科・社会の5教科は、2月から勉強をすればよいのですか。

**A** : (1) この5教科は、本格的な学年末試験対策は2月からのスタートでOKです。

(2) ただし、1月中は今までに勉強したことを試験範囲について、毎日、「復習」。「スミからスミまで覚える」ことに徹してください。

①「スミからスミまで覚える」の一番役に立つのは、英語・国語・理科・社会の「4教科」の教科書について、「音読練習」と「書き取り練習」を繰り返すことです。

②数学は、教科書や学校で用いている問題集のすべての計算や問題を繰り返し解く「計算・問題練習」を行うことです。計算や問題を見た瞬間に正解が出るまで、練習を繰り返しましょう。

③以上の「定着のための3大練習」を1月中に行い、「復習」としてください。2月に入ったら、もう一度「スミからスミまで覚える」勉強を。学年末試験直前の1～2週間は、3回目の「スミからスミまで覚える」勉強を行ってください。

(3)この「勉強の手順」で、「5教科」も100点満点が取れます。

**Q：どこでこの勉強をすればよいのですか。**

A：(1)開倫塾の先生に相談し、開倫塾の「自己学習スペース」を利用してください。

(2)ただし、「おしゃべり」「スマホ」「ゲーム」「メール」「居眠り」「飲食」などは絶対禁止です。

(3)授業のある日もない日も関係なく、受験生の皆様も含め、夕方から夜10時30分(東京は10時)まで一心不乱に机に向かってください。必ず学年末試験で100点満点が取れます。

(4)土日でも先生の勤務時間中でしたら、「自己学習スペース」の利用は可能です。先生と御相談ください。

(5)受験勉強や学年末試験の勉強が終了したら、「自己学習スペース」を利用して、毎日夜10時30分(東京は夜10時)まで、次学年の予習やこれから受験する3大検定の勉強を「手順を工夫」しながら行いましょう。素晴らしい新学年が迎えられるですよ。

\*あとはやるのみです。がんばってくださいね。

2020年1月10日(金)